

Good Choice

グッドチョイス

まちの話題をお寄せください。

総務部広報統計係 ☎75-2116 / ㊚75-2110

まちの話題

弁財天の前で吉凶に一喜一憂の伝統行事

桐野地区で春彼岸の社日祭

南多久町桐野地区で3月19日、集落の30人が妙覚寺に集まり、春彼岸の『社日祭』が行われました。境内にある山王社の菩提樹株元の弁財天石祠に酒や昆布、ごっくうさんを供え、法印読経の後、農作物や各戸の吉凶をクジで占う伝統行事です。

大吉から凶まで6種類が入った木筒を振って占うのは、嘉瀬慶昭住職。おみくじが飛び出すと、集まった人たちは「よかったねー」や「あらー」などと一喜一憂しながら、それぞれの生活の心掛けや農作業の参考にします。

北島円資区長は「地区の人たちは、みんなの前で吉凶を披露し、凶の年は用心し、大吉でもおごることなく教えを大事に1年を暮らしています。今後も伝統行事を守り続けていきたい」と話し、笑顔が集う中で、人々と農作物の平穏無事を願っていました。



▲弁財天石祠前に並び、伝統を守る桐野地区の人々

南部小の入学式



市内の中学校で4月9日、小学校では12日、入学式が行われ、212人の中学生と185人の小学生が新しい学校生活をスタートさせました。

南部小学校では、6年生と手をつないだ10人の新入生が、上級生や保護者、先生たちに歓迎の拍手で出迎えられ、元気よく入場。岩橋進校長が「車に気をつけましょう、たくさんの人とお友達になりましょう、お話をしっかり聞きましょう。この3つを南部小の1年生として頑張ってもらいたい」と伝えると「ハイ！」と元気よく返事し、児童代表や来賓などの歓迎やお祝いの「おめでとうございます」の言葉に「ありがとうございます」と声を揃えていました。

名前を呼ばれて校長先生から一人ひとりに手渡された教科書を大事に抱えて教室に入ると、初めての教室や机に心ワクワク。学びや楽しい行事をともにできる友達との学校生活に目を輝かせていました。

新しい学校生活のスタートに目がキラキラ！

市内の小中学校で入学式

ジャガー
多久JAGUAR
クラブが西日本
軟式野球大会に出場決定

3/27



5月7～10日に山口県内で行われる第32回西日本軟式野球大会1部に多久市軟式野球チーム『多久JAGUARクラブ』の出場が決まりました。多久市予選、佐賀県予選を優勝で飾って手にしたもので、近畿以西23府県大会で勝ち抜いた強豪の26チームが上位を目指します。クラブのみなさんは、「県予選では一戦一戦が僅差のゲームでまさかここまでいくとは思ったほどでした。まずは一勝の気持ちで県代表として頑張ってきます」と意気込みも一致団結です。

JAが新1年生に
「ひよりちゃん」
反射板を贈る

3/19



JAさが多久地区の役員や生産組合協議会代表らが教育委員会を訪れ、「小学校新入学児童の交通安全に役立てて！」と、中川正博教育長に県産米の新品種「さがびより」のイメージキャラクター「ひよりちゃん」の反射板185人分を贈呈しました。さがびよりのPRや食育推進も兼ね、ひよりちゃんがおにぎりを持った反射板は、車のライトを遠方から反射し、ドライバーへ歩行者の存在を知らせる夜間の交通安全アイテム。親しみやすいデザインで子ども達を見守ります。